

住ベリサーチ㈱ 分析・評価・調査受託約款

目的

- 第1条 本約款は、住ベリサーチ株式会社（以下 SB-R という）が委託者から委託する分析・評価・調査（以下業務という）を遂行するために必要な、委託者と SB-R との間の基本的な合意事項です。

適用

- 第2条 委託者及び SB-R は個別委託契約によるほか、本約款に従って契約を履行するものといたします。
2. 前項の場合において、個別委託契約の定めが本約款の定めと相違するときは、その部分に限り、本約款の規定は、適用除外されまたは修正されたものとみなします。

個別委託契約

- 第3条 委託者が SB-R に業務を委託するときは、SB-R による見積書に基づき、依頼書を作成し、これを SB-R に交付します。
2. 業務に関する委託者と SB-R との間の個別委託契約は前項の依頼書が SB-R に交付され、SB-R がこれを承諾したときに成立します。

委託料

- 第4条 見積書に記載した見積金額は見積書に記載した見積有効期限まで有効とします。

委託料の支払い

- 第5条 委託料は、原則として、業務の結果を提供した後に、見積書における支払い請求手続きおよび支払い条件に従い支払われるものとします。

秘密保持

- 第6条 SB-R は、業務の実施に必要と委託者が考える範囲内において、委託者が SB-R に提供・開示した試料および当該試料に関する技術情報および業務の結果、ならびにその他業務遂行にあたり知り得た委託者の業務上、技術上の情報（以下総称して「秘密情報」という）について、委託者の書類による事前同意なしに、これらを第三者に開示または漏洩しないとともに、業務遂行以外の目的には使用しないものとします。但し、次の各号の一つに該当する情報についてはこの限りではありません。
- (1) 委託者から提供または開示を受ける前に既に SB-R が知っていた情報。
- (2) 委託者から提供または開示を受ける前に既に公知となっていたか、または提供もしくは開示後に SB-R の責めによらず公知となった情報。
- (3) 委託者から提供または開示を受けた後、SB-R が正当な権限を有する第三者から合法的に入手した情報。
2. 前項の規定にかかわらず、SB-R が業務の全部または一部を第三者に再委託するときには、SB-R は秘密情報を当該再委託先に開示できるものとします。但し、SB-R は当該再委託先に対して、SB-R が前項の規定に基づき負担する義務と同様の義務を負担させます。
3. 本条の各規程は、業務報告書提出後5年経過するまで有効とします。

結果報告

- 第7条 SB-R は、原則として、委託者と協議して定められた期間内に業務の結果を委託者に報告します。
2. SB-R は別段の定めのない限り、業務報告書の写を業務報告書提出後1年間保管します。

試料・資料などの返却

- 第8条 SB-R は個別委託契約で定められた業務に必要な試料・資料を、業務の終了後は速やかに委託者に返却します。但し、予め両者間で処分方法を取り決めた場合は、その方法によるものとします。

反社会的勢力

- 第9条 委託者は、SB-R に対して次に掲げる項目を保証するものとし、また、次の項目に反することが判明した場合、SB-R は催告その他の手続きを要することなく、業務にかかる契約を即時解約できるものとします。
- (1) 暴力団その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」という）ではないこと。
- (2) 反社会的勢力に協力・関与ならびに資金等を提供していないこと。
- (3) 反社会的勢力を利用しない、ならびに暴力的行為、詐術、脅迫的言辞を用いないこと。
- (4) 自らまたはその役員等が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しないこと。
- (5) 役員、実質的に経営を支配する者、親会社・子会社が上記に当たらないこと。

免責

- 第10条 SB-R は天災地変その他 SB-R の責に帰する事のできない事由により業務の遂行が困難になったときは、これより生じた委託者の損害を賠償する責めを免れるものといたします。
2. 委託者が業務の結果を利用することにより生じた損害については、SB-R は一切責任を負いません。
3. SB-R の業務の方法に過失があったと認められるときは、SB-R は委託者と協議の上次に掲げるいずれかの方法により補償いたします。
- (1) SB-R の費用負担により、依頼された業務を再実施いたします。
- (2) 委託者から支払われた委託料の範囲内で委託者が蒙った損害を賠償いたします。
4. SB-R は業務の結果が第三者の工業所有権に抵触しないことを保証しません。

契約の解約

- 第11条 委託者および SB-R は、やむを得ない事情によって個別委託契約の履行が困難な事態が生じたときは、個別委託契約の変更または解約することができます。

協議

- 第12条 本約款に定めのない事項または本約款の各条項に関して疑義が生じた場合には、両社誠意をもって協議の上決定することとします。